

次期短期整備計画工程（素案）の検討内容

資料4-2

						現短期		次期短期							
	整備目的				整備内容	担当局	地区区分	R8年度(2026)	R9年度(2027)	R10年度(2028)	R11年度(2029)	R12年度(2030)	R13年度(2031)		R14年度(2032)
継続 (R6 整備基本計画で短期計画として位置付けられており、R10以降も継続して対応が必要なもの)	(1) 大阪城特有の価値・魅力を高める整備	1) 特別史的価値に大阪城跡に関連する整備	2) 石垣等の保存修復（危険樹木の撤去含む）	⑤	徳川期石垣の現況調査	建設局	公園地区以外	石垣カルテ作成・測量調査	石垣カルテ作成・測量調査	石垣カルテ作成	報告書				・石垣修復検討会議において、石垣カルテの内容精査を行い、優先順位を定めていく。
				⑬	内堀北東部水鼓き石垣の修復	建設局	内堀地区	・石垣カルテ天守台/内堀・測量調査 天守台/北外堀北面/東外堀東面	・石垣カルテ南外堀/内堀・測量調査 雁木等	・石垣カルテ北外堀/西外堀/東外堀/雁木等				・落下した石材について、車両が近づけないことから、現地に残置。 ・内堀の水鼓き石垣は間詰の抜けが目立ち、今後同様のゆるみによる影響が生じる可能性がある。 ・石垣修復検討会議の中で補修の内容精査を行い、修復を進めていく。	
				⑥	一番櫓南雁木の修復	建設局	二の丸南地区				検討	一番櫓南雁木修復設計	一番櫓南雁木修復工事	一番櫓南雁木報告書作成	
	⑦	玉造門西雁木の修復	建設局	二の丸南地区				検討	玉造門西雁木修復設計	玉造門西雁木修復工事	玉造門西雁木報告書作成				
(3) 情報効果的信	⑮	特別史跡標識・説明板の設置	経済戦略局・建設局・教育委員会事務局	外堀外縁南西地区	検討（方向性・課題整理）	調査	調査・検討	検討・報告（サイン計画）	検討・報告（サイン詳細）	設計	工事	【園内全体のサイン計画の必要性】 ・既存サインの整理に向け、まず動線を確認したうえで、サイン設置場所の妥当性、デザインコードの統一など園内全体のサイン計画が必要 ・専門家の意見を聴取しながら検討を進める ・詳細仕様、整備スケジュール、各部署の役割分担の検討			
新規	(1) 大阪城特有の価値・魅力を高める整備	1) 特別史跡大坂城跡の本質的価値に関連する整備	1) 石垣等の保存修復	②	徳川期石垣修復事業	建設局	公園地区以外			検討	検討	設計	工事設計	工事設計	・石垣修復検討会議の中で補修の内容精査を行い、修復を進めていく。 ・内堀北東部の石垣（上記⑬）、一番櫓南雁木（上記⑥）、玉造西雁木（上記⑦）の修復を優先して進めるため、徳川期石垣の修復についてはR13以降に検討を実施する。
				③	天守台、小天守台の石垣変異調査と対策	建設局・経済戦略局	本丸地区	検討（設置場所）	設置						石垣カルテの結果を踏まえ、予備・基礎診断の検討を行う
			2) 歴史的保存修復建造物の調査、地下顕遺在構化	⑤	歴史的建造物等の耐震化事業	建設局	本丸地区・二の丸南地区・二の丸北地区・二の丸西地区		調査（石垣現状調査を含む）	検討（石垣現状調査結果を踏まえ）	検討（基本設計）	設計	工事設計	工事設計	石垣カルテの結果を踏まえ、予備・基礎診断の検討を実施する。診断結果を踏まえ歴史的建造物の耐震化に伴う基本設計の検討を実施する。
				⑦	徳川期井戸の整備	経済戦略局・建設局	二の丸西地区	検討	整備						現短期整備計画に加える
	2) 訪れる快訪環境にが整備用全	1) 安全性・快適性向上		⑪	サインの整理・更新	経済戦略局・建設局・教育委員会事務局	全域	検討（方向性・課題整理）	調査	調査・検討	検討・報告（サイン計画）	検討・報告（サイン詳細）	設計	工事	【園内全体のサイン計画の必要性】 ・特別史跡標識・説明板の設置（上記⑮）に記載と同様
	(3) 情報効果的信			⑯	史跡境界標の設置	経済戦略局・建設局・教育委員会事務局	外堀外縁南西地区・外堀外縁北東地区	検討（方向性・課題整理）	調査	調査・検討	検討・報告（サイン計画）	検討・報告（サイン詳細）	設計	工事	【園内全体のサイン計画の必要性】 ・特別史跡標識・説明板の設置（上記⑮）に記載と同様